



第10回『九大・北大 合同フロンティア・セミナー』の開催について －ヨーロッパの経済危機と地域的統合のゆくえ－

概要

平成24年2月3日(金) 18時30分から東京ステーションコンファレンスにおいて第10回『九大・北大 合同フロンティア・セミナー』を開催します。

本セミナーは、現在、本学及び北海道大学がどのような研究を進めているのか等について広く産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様に知っていただき、各分野の方々との連携・交流を一層深めることを目的としているものです。開催日時、場所等は以下のとおりです。

日時：平成24年2月3日(金) 18:30～20:45

場所：東京ステーションコンファレンス (JR東京駅、東京メトロ東西線大手町駅)
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー6階

テーマ：「ヨーロッパの経済危機と地域的統合のゆくえ」

背景

九州大学は、その活動状況を社会へ発信する手段として、北海道大学との合同による活動報告会とフロンティア・セミナーを東京で開催しています。

今回、第10回『九大・北大 合同フロンティア・セミナー』を「ヨーロッパの経済危機と地域的統合のゆくえ」をテーマに次の内容で開催します。

内容

【講演】

岩田 健治 (九州大学 大学院経済学研究院 教授)

〈演題：ユーロ危機とEUの課題〉

1980年代以降、市場統合や通貨統合を推し進め、いまや世界最大の経済圏を築いたEU(欧州連合)ですが、2008年以降の世界金融経済危機のなかで大きな困難に直面しています。EUの単一通貨ユーロに一体何が起きているのか、危機の解決のために何が必要なのか、今回のヨーロッパの経済危機は経済統合を志向する世界の他の地域にどのような教訓をもたらすのか…といった問題について、経済学の立場から考えます。

中村 研一 (北海道大学 大学院法学研究科 教授)

〈演題：欧州統合の両義性〉

欧州共通通貨ユーロは、導入時には大きな前進と称賛され、現在は深刻な危機の要因と警戒されています。欧州連合は事実として進行する過程であり、今そこにあるのは一つの政治経済体です。その一つの単位体は、たえず光と闇を同時に帯びており、その瞬間瞬間に、プラス面を開示し、あるいは、マイナスの劈開面を露呈させます。この光と闇、プラスとマイナスは、欧州連合を、一つの目標を追求する制度と見るなら、明らかな矛盾であります。しかし、欧州連合を、諸目標を目指して進む過程と見るなら、矛盾を内包していることこそ、統合の美德/卓越性であります。言い換えれば、「機能するあいまいさ」こそ、欧州連合の強靱さの要件であります。

そこで本セミナーでは、ギリシャに端を発した経済危機を事例としながら、「機能するあいまいさ」とその限界について検討します。

【パネルディスカッション】

テーマ：「ヨーロッパの経済危機と地域的統合のゆくえ」

コーディネーター：清水 一史（九州大学 大学院経済学研究院 教授）

パネリスト：岩田 健治（九州大学 大学院経済学研究院 教授）

中村 研一（北海道大学 大学院法学研究科 教授）

〈参加費用〉

1,000円：ドリンク（ビール等）及び軽食付き

■効果

合同フロンティア・セミナーにおいて、南北の知の拠点である九州大学と北海道大学における先駆的な取り組みと活動状況を広く社会に向け積極的かつ継続的に発信します。このことにより、産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様方との連携・交流が一層深まることが期待されます。

また、両大学が交流を深め、互いに切磋琢磨しながら連携協力を行うことにより、今後の両大学の更なる発展・飛躍につながっていくことが期待されます。

【お問い合わせ】

九州大学 学術研究推進部 学術研究推進課 水野 和彦

電話：092-642-7265

FAX：092-642-7090

Mail：kisgodo@jimu.kyushu-u.ac.jp

北海道大学 研究推進部 研究企画・推進課 高橋 寛子

電話：011-706-2155

FAX：011-706-4873

Mail：suishin@general.hokudai.ac.jp